

【第2分科会】人権・共生教育

“特別”は自然に無意識に



滋賀県大津市立真野北小学校特別支援学級担任の今津り子さんの「独特の感受性をもつ自身の息子の関わり」を題材に、教師と保護者の両面から見つめた実践について、参加者全員が共有しました。グループトークでは、積極的な意見交換が行われました。

【第6分科会】食教育

しあわせ元気なふくいっ子を育てる食育

「知育・徳育・体育を支える食育とは」をテーマに、福井県出身の食育の祖・石塚左玄の教えを、NPO法人フードヘルス石塚左玄塾の講師が解説。「食養料理」の実習で、食育の実践力を高めました。



【第7分科会】教育相談と心の問題

ハッピートークトレーニング体験



よい言葉の習慣を身につけるための「ハッピートークトレーニング」を、トレーナー・南居喜美代さんの指導で体験。言葉が人格に与える影響の大きさに気づき、正しい言葉の使い方を学びました。

【第8分科会】特別支援教育

医療から見た特別支援教育

発達障がいの子どもたちに対する理解と支援について、福井大学医学部小児科講師の川谷正男さんが医療の視点から解説。その後グループに分かれ、具体的な事例などを基に、議論をしました。



全体講演

「役割で子どもは育つ」

講師◎山崎清治さん
(NPO法人生涯学習サポート兵庫理事長)
「子どもは先生との“共感”を求めている」と語った山崎さん。遊びそのものの面白さは問題ではなく、いかに共感できるかが大事。関係を築くために、まず相手に対して自分が心を開いていることを伝えるノウハウを披露しました。



授業や日頃の学校教育で活かせるヒントを学ぼうと、福井県教職員組合が毎年開催している教育研究会が、大野市内の3会場で開かれました。12の分科会に分かれて研究成果の発表や、各分野で活躍中の講師による講演などが行われ、教職員や保護者、地域の人たちが学び合いました。

【第1分科会】環境・平和教育

「原水禁長崎大会」「東日本大震災後の現状」報告

核廃絶や脱原発を考える「原水禁長崎大会」に参加した組合員が、環境・平和教育をテーマに報告。福島県教組副執行委員長の瓶子高裕さんは、震災直後から現在に至るまでの福島状況について、現地の写真を交えながら講演しました。被災地の教育現場が抱える問題や、環境・平和教育のあり方について考えました。



【第3分科会】PTA・地域住民との連携

地域の良さを取り入れた教育活動の実践



“地域の達人”毎川金花堂パティシエの毎川和宏さんを講師に迎え、大野の名水を使った新ご当地スイーツとして売り出し中の「ショコラdeようかん」づくりに挑戦。さらに野村醤油社長の野村明志さんの案内で、醤油工場を見学しました。身近にある地域資源を教育現場で活かす実践的な手法を、楽しみながら学びました。

子どもたちの心にもっと響く教育を探るために。



第66次
教育研究福井県集会
日時/11月5日(土)
会場/大野市学びの里「めいりん」、
有終西小学校、
開成中学校

【第4分科会】教育条件整備と学校財政

遠隔授業・研修システムの活用

教育現場においても情報通信機器の導入が進む中、遠隔授業・研修システムの具体的な活用例と課題について、4名の講師が解説。児童・生徒の学習の可能性が広がり、教職員の研修や会議では経費・時間の節約につながることを学びました。講義後には機器を使った研修も行われ、教育における通信技術の可能性を体感しました。



【第5分科会】健康教育

疲れを癒やすアロマ

ストレス緩和や認知症に役立つアロマと漢方について、五葉館薬局の薬剤師・武田葉子さんが講演。西洋医学と東洋医学の違い、東洋医学体質による疲れの特徴や精油の効能について話しました。また、参加者それぞれが好みの香りの精油を選び、かぜ予防効果やリラックス効果のある2種類のアロマプレー作りを体験しました。



【第9分科会】教科(総合・生活)

ふるさと教育(ESD)のすすめ方



児童・生徒の発達段階に応じた環境教育のすすめ方について、地域の自然を生かした手法を3名の講師が紹介。小学校での実践報告も行われ、ふるさとに目を向けた授業の重要性を学びました。

【第10分科会】教科(保健体育)

楽しくおどろう! ダンス! ダンス!

ダンススタジオ代表の田中裕弥さんが、中学校の保健体育で必修となったダンスの指導法を伝授。ヒップホップダンスの基本ステップを学んだ後、グループごとにダンスを創作して発表しました。



【第11分科会】今日の課題研修

ネットトラブルから子どもたちを守る



身近に潜むネット犯罪の危険から子どもたちを守る対策について、福井県警察本部 生活安全部 少年女性安全課の高橋朝美さんが説明。実際にアプリを体験したり、ネットトラブルの対処法について話し合いました。

【第12分科会】母と女性教職員の会

子ども達の幸せな未来のために

「地域との関わり」「健康生活」「給食を通じた情報発信」「チームで子どもの夢と力を育てる」をテーマに、6名の教員が報告と問題提起。子ども達の未来のために、何をすべきかを議論しました。

